

みたけじんじゃほんでん
御嶽神社本殿

瑞穂町指定有形文化財

所在地：瑞穂町石畑 1848 番地



この本殿は御嶽神社境内の
さやどう
鞘堂の中に安置されていま
す。総^{ひのき} 桧材で、一間社、^{いっけんしゃ}
いりもや 入母屋造。正面は千鳥破風^{ちどりはふ}
付、こけら葺^{ぶきご}向^{はいのき} 拝軒、唐破風^{からはふ}
付となっており、その彫刻
の見事さは目を見張るもの
があります。総高3mで、軸
部は亀腹^{かめはら}の上に建ち、丸桁^{がぎょう}
(垂木を支える横材)は下
から斗棋^{ますぐみ}を除き、壁面はも
ちろん勾欄^{こうらん}の手摺から台座

に至るまで、彫刻が施されています。棟札には、旧石畑村下郷の棟梁、
鈴木^{ひろとみ} 広宝が天保12年(1841)2月に着工し、その後、弘化2年(1845)4
月に完成したことが記されています。

附帯指定として、次の記銘物がある

- ①享保八年九月奉納 木^き 鐸^{ほこ}
- ②弘化二年四月再建 棟^{むな} 札^{ふだ}
- ③明治元年十一月 社名変更に関する木札
- ④御嶽神社御本社 正面^{たてじわりのず} 建地割之図、妻建地割之図 各一葉